

四條啜学園 100 周年記念 電子書籍のご紹介

四條啜学園では、創立 100 周年記念事業の一環として、学園の歴史や建学の精神、創立者や関係者の歩みを紹介する電子書籍（Kindle 版）を出版しています。

いずれも Kindle 版 99 円（税込）でご購入いただけるほか、Kindle Unlimited 対象書籍としてお読みいただけます。すべてペーパーバック版も販売しています。

書籍名	表紙	著者 編著	概要
1919 年 牧田宗太郎の欧米視察旅行		高山光夫	牧田宗太郎先生が 1919 年に約 1 年かけて行った欧米視察旅行の記録を、現代の読者にも読みやすい形で要約・編集した一冊です。第一次世界大戦後の欧米の教育、社会、文化を見つめながら、「人を育てる」とは何かを考えた牧田先生のまなざしをたどります。
牧田正知と四條啜高等女学校 — 戦時下に生き急いだ教育者の生涯 —		高山光夫	牧田宗太郎先生の子息であり、四條啜高等女学校の教員として学園の発展に尽くした牧田正知先生の生涯をたどる一冊です。歴史教育、楽劇部、水泳部、学校組織の改革などに力を注ぎ、30 歳で急逝した若き教育者の歩みを紹介しています。
牧田宗太郎物語 — 一人を育てるといふ、生涯の仕事 —		高山光夫	四條啜学園創立者・牧田宗太郎先生の生涯をたどりながら、「人を育てる」とはどういうことかを考える一冊です。教育の可能性を信じ、一人ひとりの個性や自主性を大切にしたい歩みを、学生にも読みやすい表現で紹介しています。
四條啜高等女学校の人びと — 生徒たちと教員 — 戦前・戦中の学園生活と戦後の歩み		高山光夫	四條啜高等女学校の校内新聞、校内文芸誌、同窓会誌、学園記念誌等をもとに、生徒たちと教員の姿をたどる一冊です。戦前・戦中の学園生活、友人や恩師とのかかわり、卒業後の歩みなどを通して、当時の学びと人間形成の一端を紹介しています。
「人をつくる」ということ — 言葉が人生を変えるとき		学校法人 四條啜学園	四條啜学園創立 100 周年を記念して行われた座談会の記録です。学園が大切にしてきた教育理念「人をつくる」をテーマに、卒業生ロウリス智綾さんの歩みを通して、人を育てることの意味をあたたく、真摯に語っています。
それでも人は立ち上がる ロウリス智綾物語		学校法人 四條啜学園	本学園卒業生・ロウリス智綾さんの実話。いじめや不登校を乗り越え、ルワンダとの出会いをきっかけに 30 年以上にわたり教育支援・人道支援活動に尽力してきた歩みを描く、勇気と希望のノンフィクションです。